

令和2年度 文京区立明化小学校 授業改善推進プラン

第1学年2組

	児童の実態	指導のめあて	具体的な授業改善の方法	2学期評価	3学期評価
国語	<p>○簡単な文をスムーズに読むことができる児童が多い。拾い読みや、言葉のまとまりで読み取れない児童は、2～3名。</p> <p>○思ったことや考えたことを人前で話すことができる児童が多い。声の大きさはやや小さい。</p> <p>○書く力については、書きたい内容があるが、文字で表現することに時間がかかる児童が多い。</p> <p>○文字の学習には、意欲的に取り組んでいるが、書き順や形にまで意識が向けられない児童も多い。 ○「は・を・へ」等の助詞の使い方は、定着していない児童が多い。</p>	<p>○文字を正しく読み取り、語のまとまりを意識しながら、スムーズに読む力を身に付けさせる。</p> <p>○相手に応じ、身近なこと等について、事柄の順序を考えながら話す力を付けさせる。 ○自分の考えに自信をもたせ自分から進んで発表しようとする態度を育てる。</p> <p>○文字を正しく書くこと、順序に沿って書くこと、助詞を正しく使って書く力を育てる。</p> <p>○事柄の順序に沿って書くこと、「は・を・へ」等を正しく使うこと、文字を正しく丁寧に書くこと等に気を付けて書く力を伸ばす。</p>	<p>○教師が範読をして、語のまとまりやリズムよく読む手本を示す。読み間違いは、その場で直すようにする。 ○意欲的に音読に取り組む習慣がつくよう、一斉読みや丸読みなど音読する機会や宿題の成果を出す機会を設ける。 ○話す内容について、観点（したこと、見たこと、思ったことなど）を伝える。何文話すかなど、具体的なめあてをもたせる。</p> <p>○思ったことを口頭で話させてから、文章にするなど、書く支援をする。</p> <p>○文章を正しく視写したり、行事ごとに短い文章を書かせたりする等、継続的に文章を書かせる時間を設ける。</p>		

	<p>○話の聞き方については、姿勢を正して、話している人を見ることができ児童が多い。途中で思ったことを話し始めしまう児童が数名いる。また、話の聞く態度はよいが、内容理解が十分でない児童も多い。</p>	<p>○話している人を見て、大事なことを聞き落とさないように聞く力を身に付けさせる。</p>	<p>○話を聞く姿勢がとれている児童を賞賛する。自分に関わることとして話を聞く意識が高めるよう、話が終わったあとに、質問をする時間を設ける。</p>		
生活	<p>○学校探検、朝顔の世話、公園探検等の活動に興味をもって取り組むことができる。</p> <p>○朝顔の観察では、様子を絵や言葉で表現できる児童が多い。気づきまで表現できる児童はまだ少ない。</p> <p>○通学路の歩き方や遊具の使い方等、安全に気を付けようという意識はほとんどの児童にあるが、危険を予測できない児童もいる。</p>	<p>○見る、聞く、触れる、作る、探す、育てる、遊ぶ等の活動の楽しさを味わえるようにする。</p> <p>○進んで人や動植物にかかわる態度を育てる。</p> <p>○観察の視点を理解し、分かりやすく表現することができる。</p> <p>○共通点や相違点に気付ける力を育てる。</p> <p>○集団や社会の一員として自分の役割や行動の仕方について考え、安全で適切な行動ができるようにする。</p>	<p>○児童が興味をもてる単元設定をする。</p> <p>○自然の事物や現象を利用した遊びや身近にある道具を使って活動を工夫できる環境を整える。</p> <p>○観察の視点を明確に示す。</p> <p>○児童の観察カードを掲示し、他の児童の作品の良いところを見付けられる機会を設ける。</p> <p>○定期的に登下校を見守り、自分たちの行動を振り返る機会を設ける。</p> <p>○公共物や公共施設の利用について事前に指導する。</p>		
算数	<p>○数の表し方と大小や順序はほぼ理解できているが、数を多面的にとらえることが苦手な児童もいる。</p> <p>○10までの数のたし算・ひき算については、ほとんどの児童が理解できている。しかし、まだ指を使わないと計算できない</p>	<p>○数の構成を理解し、数を多面的にみるができるようにする。</p> <p>○時間のかかる児童は、繰り返し計算練習を重ね、少しずつ速く解けるようにする。</p>	<p>○児童が自分のイメージで、数をいろいろな見方でとらえられるよう、算数ブロックなどの反具体物を活用する。</p> <p>○数カードや数直線等を用いて、数の構成について確認させる。</p> <p>○言葉や文章から場面を想像しやすいうように、操作活動を通して読解を促し、加法や減法の意味理解を深めていく。</p>		

	<p>児童もいる。</p> <p>○たし算やひき算の問題づくりやお話づくりに意欲的に取り組むことができる。</p> <p>○文章問題では、立式ができないことがある。</p>	<p>○加法や減法が適用できる場面を知り、計算が確実にできるようにする。</p> <p>○文章問題での演算決定等、課題を解決する力を付ける。</p>	<p>○加法や減法の意味を統一的にみることができるよう、ていねいにブロック操作を行うよう指導する。</p> <p>○加法では、「あわせて」「ふえると」「みんなで」や減法では、「とると」「のこりは」「おおい」「ちがひ」などのキーワードの言葉に注目させる。</p>		
<p>音楽</p>	<p>○幼稚園や保育園で歌ったことのある歌を楽しそうに聞く姿が見られる。</p> <p>○初めて歌う歌にも興味関心をもつことができる。</p> <p>○曲に合わせて、積極的に歩いたり、踊ったりと体を動かすことが好きな児童が多い。</p> <p>○「たん、たん、たん、うん」などの簡単なリズムをほとんどの児童が打つことができる。しかし、リズムがつかめずにいる児童も2～3名いる。</p> <p>○鍵盤ハーモニカの演奏については、鍵盤楽器を経験してきた児童が少なく、初めて取り組む児童も多いが、楽しみながら行うことができている。</p> <p>○正しいタンギングや指使いで演奏できる児童は少ない。</p>	<p>○楽しく音楽にかかわることを通して、一人一人が自ら歌ったり、音楽に合わせて体を揺らしたりする態度と習慣を育てる。</p> <p>○曲のリズムを感じ取り、自由に身体表現をする。</p> <p>○リズムを正しく打てる力を付ける。</p> <p>○正しい指使いとタンギングで、曲を演奏する。</p>	<p>○曲のイメージがもてるよう、写真や絵などを活用する。</p> <p>○季節にあった歌を聞く機会を設ける。</p> <p>○表現する力を養うために、全員で表現したり、友達の表現を見合ったりする場を設ける。</p> <p>○教師が手本を示す。</p> <p>○「たん」と「うん」が視覚的に理解しやすいような掲示物を活用する。</p> <p>○正しい音と指使いで演奏ができるよう、階名で歌ったり、空中で指使いの練習をしたりする。</p> <p>○一人一人の技能を把握するため、一人ずつ演奏する機会を設</p>		

			ける。友達の演奏を聴く力も付けていく。		
図工	<p>○様々な素材や道具を使って、自分なりの作り方や表し方を試している。</p> <p>○自分の思いをもって、作品づくりに取り組める児童が多い。</p> <p>○自分の作品について、友達の前で話すことができる。</p> <p>○友達の作品のよさに気付き、自分の作品づくりに取り入れようとする児童が多い。</p> <p>○様々な素材や道具を使って、自分なりの作り方や表し方を試している。</p>	<p>○自分なりの自由な発想で作品を作る。</p> <p>○自分の作品や友達の作品のよさを伝え合えるようにする。</p> <p>○用具の正しく安全な使い方を身に付けさせる。</p>	<p>○めあてをしっかりとって、創作活動が行えるよう、材料や活動内容について、具体物を用いながら指導をする。</p> <p>○作品や友達とかかわるために発想のよさや工夫、頑張ったところを伝え合う活動を取り入れる。</p> <p>○創作活動で、さまざまな素材や道具を選べるよう、正しく安全な使い方を指導し、用具に十分に触れさせる。</p>		
体育	<p>○楽しく進んで運動しようという意欲が見られ、ほとんどの児童が集団行動をとれる。一方で、整列や集合に遅れがちな児童もいる。</p> <p>○鉄棒やボール投げ、水泳等、技能の面では技能差が大きい。</p> <p>○マットや跳び箱などを初めて扱う児童が多い。</p>	<p>○友達と仲良く、協力して運動する態度を育てる。</p> <p>○楽しく体を動かしながら基本的な動きを身に付け、体力を養う。</p> <p>○安全に気を付けて、用具の準備や片付けを行う。</p>	<p>○友達の動きを見合う機会を設ける。</p> <p>○多種多様な運動を取り入れ、楽しみながら、筋力、柔軟力、瞬発力、持久力等、様々な力をバランスよく身に付けられるようにする。</p>		